

99-58

問題文

急性前骨髄球性白血病について、正しいのはどれか。1つ選べ。

1. フィラデルフィア染色体が形成される。
2. CD20抗原が認められる。
3. 転座染色体t(8:22)が認められる。
4. *PML-RAR α* 融合遺伝子が認められる。
5. *BRCA1* 遺伝子に変異が認められる。

解答

4

解説

選択肢 1 ですが

フィラデルフィア染色体が見られるのは、慢性骨髄性白血病及び、急性リンパ性白血病です。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

CD20抗原は、B細胞性の悪性リンパ腫の多くに存在しています。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

急性前骨髄球性白血病で見られるのは、15番染色体と、17番染色体の転座です。つまり t(15:17) です。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 はその通りの記述です。

15番染色体と、17番染色体の転座により、PML / RAR α 融合遺伝子が作られます。

選択肢 5 ですが

BRCA1 遺伝子とは、がん抑制遺伝子の1つです。この遺伝子は、乳がんや卵巣がんの発症と関連していることがわかっています。急性前骨髄性白血病で変異が見られるということはありません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 4 です。